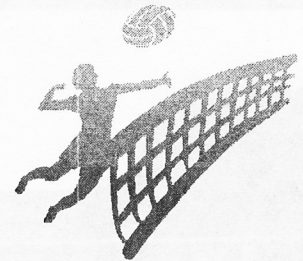


## この大会の勝者はだれ? ~ 多面的に考えると、いろいろなことが見えてくる ~

球技大会を多面的に分析してみよう。そのためには、以下に示すような複数の観点が必要である。

- 観点1 準備はどのように進められたか?
- 観点2 大会に向けてクラスに変化はあったか?
- 観点3 大会中の態度は立派だったか?
- 観点4 応援は、熱心にそして全力で行えたか?
- 観点5 コートに立ったとき、真剣な態度で臨めたか?
- 観点6 コートに立ったとき、クラスメイトにどんな声をかけていたか?
- 観点7 試合が終わったとき、お互いに健闘をたたえ合えたか?
- 観点8 閉会式には、黙って素早く移動できたか?
- 観点9 大会の結果は何位だったか?
- 観点10 学級の【団】を実感できたか?



これらの観点で、大会を振り返ったとき、やはり勝敗にはこだわりたかった。結果としては女子が準優勝となり、賞状を一枚手に入れた。なので成果としては十分満足とまではいかないものである。しかし、子どもたちの感想は違っている。満足度は非常に高い!最高で10000%、最低で40%である。40%の理由は「結果は良くなかったけど、気合いや応援、団結力は1位だと思います。4組のきずながさらに深まったと思う」とありました。ということは、観点9では満足いらないが、観点10では大満足の結果であることを示しています。

大会を総括するならば、観点9以外は、どの感想を読んでも大満足に近いものがあつたのだらうと思います。前回の長縄大会では、感じる事ができなかった充実感と努力することが結果に結びつくことの大切さを改めて感じられた球技大会になったようです。

参観に来ていただいた保護者の皆様は目のどのように映ったでしょうか?子どもたちが精一杯がんばり、互いに励まし合い高め合う姿を見ていただけたのではないかと思います。まだまだ未熟な子どもたちですが、今回の大会で一回りも二回りも大きく成長できたと自負しています。さて、期末テストが、23日から始まります。テストも同様に多くの観点を通して子どもたちのがんばりを評価してみてください。今後の成績の伸び方が飛躍的に向上していくはずですよ。たくさんの観点から子どもたちの成長を楽しんでいきましょう。

高原学校や体育祭、音楽祭などがあるので、次は優勝を目指し、それを実現できるように努力したい。クラスが団結すると楽しいので、どんなときも、笑顔なクラスでいたい。(岸茉莉)

この球技大会を一言で表すのなら「仲間」というふうに、僕は表します。なぜなら、仲間がいなければこの球技大会はなかったし、チームワークがなければ、試合をやっている意味もなかったと思うので、僕は、球技大会をこの一言で表しました。熱くて、悔しいときもあったけど、仲間がいたから乗り越えられたんだなと思いました。(中島昌吾)

結局、1位にはなれなかったけど、順位なんかより全員が努力して協力してこそ意味があって、順位はその後についてくるものだと思っています。(金田拓也)

しっばいして泣いている人がいたけど、ハグしたり、勝って終わったときにみんなでハイタッチをして、うれしかったと思います。結果は2位で優勝できなかったけど、どこのクラスよりも4組が一番だと思います。(落合なお美)

朝は、陽射しがみえずどんよりとした天気でした。でも、大会をやっているにつれ、日がだんだんと見えてきて、とても熱かったです。四組はとても気合いが入っていて、気合いでは他のクラスには負けていませんでした。(萩原明日香)

今日は球技大会をして、クラス全員の心が1つになりました。満足度は99.9%と書きましたが、あと0.1%は勝てなかったことです。でも、みんなで助け合いがんばってきたので、次のクラス対抗戦では、今日の悔しさをバネにして絶対優勝します。このクラスは、負けてもみんなで励まし合えたので、とてもいいクラス、学年で一番のクラスだと、今日の大会で実感できました。(中山日菜子)

球技大会を通して、このクラスの人とすごく絆が深まったと思う。順位は準優勝で、もう少しだったけど、みんなで助け合えたり、声をかけ合えたりして、すごくいい球技大会だった。練習の時はあまり応援の声が大きくなかったけど、本番で大きい声で応援できたし、コート内でも「ドンマイ!」など声をかけ合えたので、うれしかった。(中島昌吾)